

2023年度 つむぎ横浜西口ルーム 職員アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
 今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

		質問内容	平均スコア (最大スコア5)	改善策・ご意見への対応について
業務改善について	Q2	入口や支援室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、子どもが活動するにあたり安全な環境であるか。	3.3	これからも清潔、整理整頓された、お子さまたちにとって必要なものを用意できるように環境を見直してまいります。
	Q3	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	4.7	今後も適切な休憩および休暇が取れるよう、スタッフ同士協力しあっています。
	Q4	保護者様にアンケート調査等を行い、保護者様の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	3.1	利用者アンケートにて、毎回保護者様からご意見を頂戴しております。いただいたご意見をスタッフ全員で共有し、会議で検討し、改善してまいります。
	Q5	スタッフの資質、支援スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	3.6	法人では、園長大学®・保育士大学をはじめ、様々な研修機会が用意されております。スタッフは各自の関心や課題に応じて、こうした研修や外部研修に参加し、専門知識や技術の修得に努めてまいります。
	Q6	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		意見の出しやすい環境づくりを心掛け、必要な場合には、都度、業務改善してまいります。
適切な支援の提供について	Q7	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	3.4	法人全体で共通したアセスメントツールを使用しております。アセスメント後、策定会議を行ったうえで、個別支援計画を作成しております。
	Q8	グループ活動や個別支援のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	3.3	グループ活動は3カ月ごと、個別支援は6カ月ごとに目標を立てておりますが、お子さまの成長の具合に合わせて柔軟に変更し、成長を促しやすいための目標設定を加えるなど、努めてまいります。
	Q9	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3.4	今後も、大人が決めたプログラムを強いるのではなく、「お子さまがやりたいこと」を中心に、興味や発達を促した支援を行ってまいります。戸外での活動や自然物を活かした活動など、四季を感じる支援など引き続き検討してまいります。
	Q10	プログラム開始前にはスタッフ間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	3.7	支援前に内容について打ち合わせをするとともに、お子さまの様子によって臨機応変に対応できるよう、スタッフ間で役割分担や支援目標について確認しております。
	Q11	支援終了後には、スタッフ間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	3.1	一日の流れの中に振り返りの時間を確保し共有できるよう努めております。その日のうちに振り返りができなかった場合には、近日中にその時間を確保して振り返れるよう心掛けております。
	Q12	日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	3.6	支援内容や保護者様とお話しした内容は、正しく記録し、その後の支援へ繋げるよう努めてまいります。
	Q13	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていないか。	4.0	半年に一度以上、モニタリングと策定会議を行い、お子さまにとって適切な支援を見直しをしております。保護者様にわかりやすく伝える説明を心掛けております。
	Q14	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	3.3	児童発達売度ラインに従い、活動を複数組み合わせることで支援を行うよう今後も努めてまいります。
	Q15	適切な支援の提供について、ご提案をお聞かせください。		スタッフが互いに学びあいを深められるようルーム内研修などを行い、また、スタッフ自身が積極的に研修に参加するなど、より質の高い支援が提供できる個人・ルームであるよう努めてまいります。
	保護者様との連携について	Q16	日頃から子どもの状況を保護者様と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4.1
Q17		所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に努めているか。	4.0	保護者様とお話しをする中で、ご所属の保育園や幼稚園などにも積極的に出向いております。引き続き、連携しながらお子さまの支援ができるよう努めてまいります。
Q18		児童発達支援事業所同士で連携をとり、利用児についての情報共有、相互理解に努めているか。	3.9	横浜市西区区内では、西区自立支援協議会児童部会の中に、今年度から児童発達支援連絡会が新たに設けられ、定期的に連絡会に参加しております。今後も、お子さまの情報共有や相互理解を保護者さまのご希望に合わせて行えるよう整えてまいります。
Q19		児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	3.3	保護者さまのご希望に合わせて、就学支援シートの活用や情報共有を行い、お子さまがスムーズにサービスを利用できるように努めてまいります。
Q20		児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	2.6	広く研修の案内をしながら、学びの機会を提供できるよう心掛けてまいります。
Q21		地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	3.0	市からの案内に基づいて、必要な会議に参加しております。
Q22		障害の有無にかかわらず、子ども同士が関わる機会を設けているか。	2.9	戸外活動で公園に行った際には、地域の子どもたちと交流ができるように努めております。引き続き、つむぎ以外の子どもたちと活動ができる機会を提供できるように努めていきたいと思っております。
Q23		事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	2.6	今後は、積極的に地域の方との交流を図る運営をしていけるよう努めてまいります。
Q24		保護者様の子どもへの理解力・対応力の向上を図る観点から、保護者様の状況に合わせた適切な支援を行っているか。	3.6	引き続き、日々の保護者様との情報共有や、事業所内相談支援を活用し、保護者様に対しても適切な支援が提供できるように努めてまいります。
Q25		関係機関や保護者様との連携について、ご提案をお聞かせください。		今後も、関係機関や保護者様と連携をしながら、お子さまにとって適切な支援が提供できるようにしていきます。

2023年度 つむぎ横浜西ローム 職員アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

保護者様やお子さまへの対応などについて	Q26	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	3.7	契約時には、安心してご利用いただけるよう、わかりやすく説明するようスタッフ一同心掛けております。利用開始後も、ご不明な点がございましたらお気軽にお尋ねください。
	Q27	保護者様からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4.1	いつ、だれであっても相談に乗れるよう、日々の情報共有や支援の準備を継続してまいります。
	Q28	保護者様同士が集まれる場の提供など、保護者様同士の連携につながる支援を行っているか。	2.7	今後は保護者様のご希望も確認しながら、座談会や勉強会などの開催を企画していこうと思います。
	Q29	子どもや保護者様からご意見・ご提案があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	3.3	気になることやご意見などありましたら、いつでもお伝えください。迅速に対応させていただきます、お子さまや保護者様が安心してご利用いただけるように努めてまいります。
	Q30	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、子どもや保護者様に対して情報を発信できているか。	4.1	告知に関しては主に文書配布、カフェ掲示でお知らせしております。活動については引き続きブログ等を通じて情報を発信できるよう努めてまいります。
	Q31	障害のある子どもや保護者様との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例:分かりやすい言葉がけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど)	3.9	今後も日々の対応を振り返りながら、だれにでも伝わりやすい意思疎通ができるよう努めてまいります。
	Q32	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	4.3	事務室内での書類やデータの扱いについて意識的に注意いただきありがとうございます。引き続き、個人情報の取り扱いには細心の注意を払って行っております。
	Q33	スタッフ同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	2.7	チーム支援推進のためにも、お子さまの情報をスタッフ間で密に共有しあい、いつでも安心してご来所いただけるように努めます。
	Q34	保護者様や子どもへの対応などについて、ご提案をお聞かせください。		保護者様やお子さまの心に寄り添った支援を今後も心掛けてまいります。
	非常時の対応について	Q35	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	4.3
Q36		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	4.1	月一回、様々な状況を想定して訓練を行っています。またスタッフ間で必要に応じた訓練を実施していきます。
Q37		虐待を防止するため、スタッフの研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	3.7	虐待防止研修の実施に加え、日々の支援の振り返り、自身の言葉かけ等が適切であったかスタッフ間で確認するようにいたします。
Q38		ヒヤリハット事例集を作成して、ルーム内で共有しているか。	4.0	日々の終礼でヒヤリハットの共有を継続して行い、対応や再発防止の会議も定期的開催してまいります。
Q39		非常時の対応について、ご提案をお聞かせください。		防災訓練やマニュアルの読み合わせを通して、非常時に適切に対応できるように努めてまいります。
満足度について	Q40	子どもは必要な支援を受けられていると感じていますか。	3.4	つむぎに通うことを楽しみにしているとお声を頂戴しております。子どもの気持ちを真ん中に置き、そこから成長していくことができるような支援を行えるよう、スタッフ一同今後も努めてまいります。
	Q41	つむぎの支援を通じて、子どもの変化や成長を実感することがあるか。	4.0	今後とも日々の変化や成長を、保護者様とつむぎとで一緒に感じていけるよう、情報共有を行っていききたいと思います。
	Q42	設問事項に関わらず、ご提案などお聞かせください。		日頃よりサービス内容を振り返り、質の高いサービス提供していけるようなチームとなっていけるよう努めてまいります。

アンケート実施期間:2023年8月15日~9月5日

全回答数 : 7

つむぎ横浜西ローム
施設長 佐藤 史恵